

一般会計は、344億円

市民生活の全体をまかなう「一般会計」の予算総額は、344億円となりました。

昨年度と比較し2・6％、8億8000万円の増となりました。

歳入

歳入は全体の3分の1を占める市税が前年度比3・9％減の115億1、416万円を見込みました。

特に法人市民税は景気悪化の影響から、2億9、700万円減額の9億5、300万円を見込みました。また、固定資産税は家屋課税標準の減少により前年度比2・7％の減、地方譲与税についても、自動車重量税・取得税の減税措置が講じられることから7・6％の減額を見込みました。

地方交付税は、昨年度比4％増の78億円を見込みました。これは、地方交付税の原資となる国税5税が大幅に減

収したことに対し、国が補てん措置を講じたことから見込んだものです。

歳出（目的別）

歳出では、予算編成方針に基づき、さまざまな事業の実現化が図られています。特に「教育費」「衛生費」「消防費」の伸びが大きくなっています。

教育費は継続事業である穂高北小学校の耐震・大規模改造工事、穂高交流学习センター事業や豊科北小学校の耐震化工事・豊科交流学习センター工事に着手するなどの予算を計上したため、増となっています。

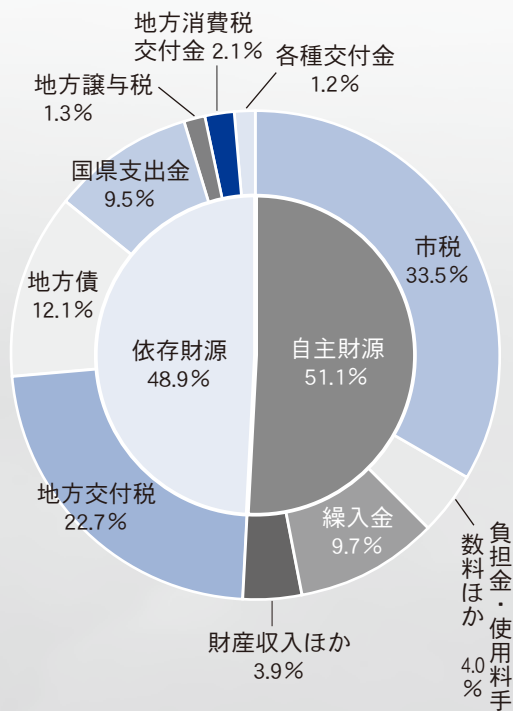
また衛生費は、安曇野赤十字病院建設に対する補助事業が引き続き行われているため増、消防費は、デジタル移動系防災行政無線整備費を計上したため増となっています。

歳出（性質別）

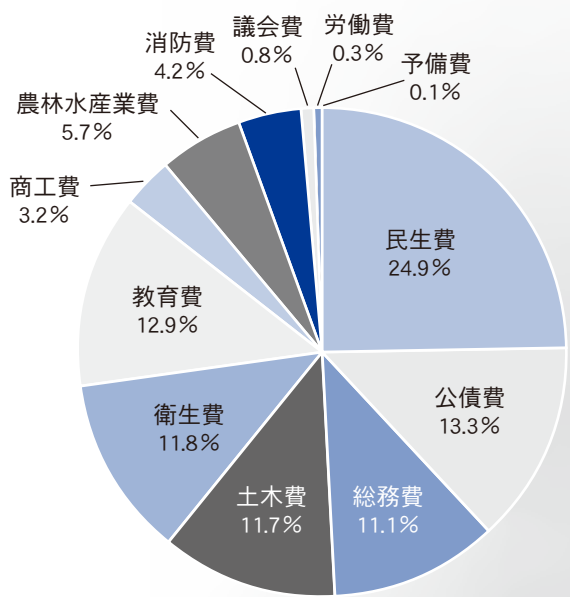
歳出の性質別では、普通建設事業費のほかに「繰出金」が伸びています。

これは下水道事業特別会計への繰出額が増えたためです。

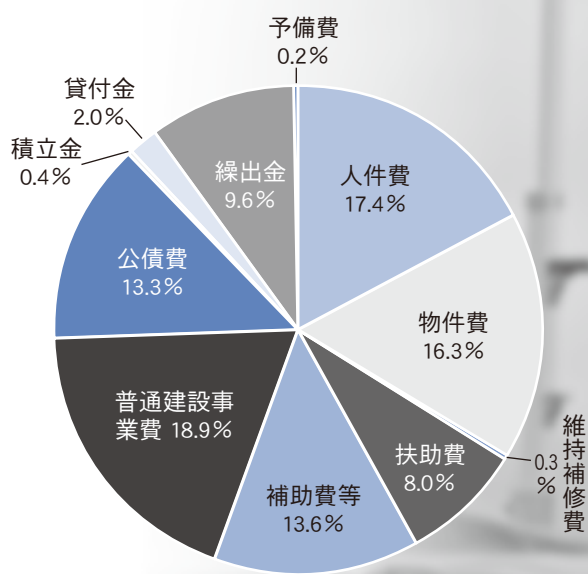
一般会計歳入構成比率



一般会計歳出構成比率（目的別）



一般会計歳出構成比率（性質別）



13の特別会計と2つの企業会計のうち、主なものについて説明します。

特別会計

【住宅新築資金等貸付事業会計】

現在は新たな貸し付けはなく、過去の償還事務のみを行っています。

【国民健康保険会計】

保険者が健康診断（特定健診）を行うよう制度が改正されたほか療養給付費の増加で、予算額も年々増加傾向です。

【後期高齢者医療会計】

これまでの老人保健制度にかわり平成20年度に創設。医療費等の給付は、「長野県後期高齢者医療広域連合」が行いますが、市では保険料の徴収や広域連合への納付金の処理を行います。

【介護保険会計】

介護サービス給付費の半分は公費負担、残り半分は40歳以上の人、全員の保険料で賄われています。居宅介護・施設介護ともに、サービス給付費は増加傾向です。

【下水道事業会計】

穂高地域以外は、整備がほぼ完了したため、事業費が減少しています。

企業会計

【宿舍事業会計】

しゃくなげ荘、有明荘、大天荘の管理運営を行います。指定管理委託を行っているため、日常の経費は指定管理者の経理で行われ、予算額は減少しています。

平成 21 年度安曇野市各会計予算額一覧

会 計 名		予算額	前年度比%
一般会計		344億円	2.6
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計		327万円	△ 32.1
国民健康保険特別会計		93億8,152万円	△ 3.0
老人保健特別会計		7,519万円	△ 94.7
後期高齢者医療特別会計		7億5,583万円	△ 8.6
介護保険特別会計		64億8,768万円	11.1
下水道事業特別会計		49億6,883万円	△ 7.4
農業集落排水事業特別会計		1億9,922万円	0.1
上川手山林財産区特別会計		215万円	16.1
北の沢山林財産区特別会計		295万円	242.7
有明山林財産区特別会計		338万円	730.7
富士尾沢山林財産区特別会計		74万円	89.5
穂高山林財産区特別会計		71万円	60.3
産業団地造成事業特別会計		2億7,862万円	△ 28.3
特別会計合計		221億6,012万円	△ 6.6
企業会計			
水道事業会計	収益的收入	20億5578万円	1.0
	支出	19億4393万円	△ 1.3
	資本的收入	4億3922万円	△ 45.1
	支出	15億1951万円	△ 21.8
市営宿舍事業会計	収益的收入	1639万円	△ 31.7
	支出	2005万円	△ 12.8
	資本的收入	0	
	支出	630万円	△ 33.3

※ 1 万円未満は切捨てて掲載